

(例熱)

4

きつつきの商売

名前

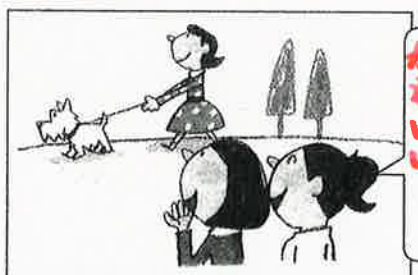
● 「きつつきの商売」の「3」の場面を作るなら、どのような物語にしますか。そうぞうして書きましよう。

登場人物	場所や天気 など	音	出来事など
・店の人—— きつつき ・おきやく—— たぬき(ニひき)	・森のおく ・明るい月夜	・木をたたく、元気な「ゴツコツ」という音。	・きつつきの音を聞いていたたぬきたちが、楽しくなっておどります。

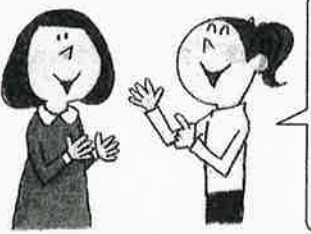
(例文)

(44ページ)

二人とも、何がかわい
いのか、何がほし
くなったりかを、は
つきりと話さなかつ
たから。



あっ、あの犬、
かわいい。



ワンちゃん、
かわいかったね。

うん。でも、わた
しは女の子の洋
服がほしくなつた。

● 44ページ「きちんとつたえるために」を読んで考えましょう。

・どうして、話が食いちがって
しまったのでしょうか。

・どのように言えばよかったの
でしょうか。

(例文)

(45ページ)

お母さんは何の用か
言わなかったが、ひ
ろしさんもおれを
たしかめなかったか
ら、また「すぐ行く」と
言って、十分後に
行ったため。



ひろし、アス
クリウムがある
からすぐ来て。



もう少ししておわりそう。

十分くらいか
るけどいいかな。

※ おうちの人がよいと言われたら
マルをつけてもらってもよいです。